



教育目標 たくましく生き抜く力と豊かな人間性の育成



学校だより ふれあい

令和元年
12月20日
発行

学校だより タイトル「ふれあい」に思う

～ひとはみな 一人では生きてゆけないものだから～

校長 高木 司

かつて昭和の流行歌で、中村雅俊が唄う「ふれあい」がありました。

♪ 悲しみに出会うたび あの人を思い出す
♪ こんな時そばにいて 肩を抱いてほしいと
(略)
♪ 何気ない心のふれあいが 幸せを連れてくる
♪ 人はみな一人では 生きてゆけないものだから



という歌詞です。ご存知の方もいることでしょう。

3年前、仙台市で開催された全日本中学校長研究大会に参加しました。特別講師として、宮城県出身の中村雅俊氏が登場しました。中村氏は、現在も俳優・歌手として活躍する一方、宮城県復興大使を務めています。講演では、芸能界の苦労話や、数多くの俳優・女優・歌手のエピソードなど具体的に紹介されました。

東日本大震災復興支援として、積極的に支援活動を展開している様子を教えてくださいました。全県くまなく訪問し、数多くの被災者の方々と向き合っている内容です。中でも、学校教育への支援には重点的に取り組まれ、津波で被害に遭い、統廃合を余儀なくされた子どもたちのために、新設校の校歌も依頼を受けて作られています。

氏が幼い頃に育った故郷（女川町）のために、「自分は何ができるのか。何を伝えたいのか…」という思いの原点は「ふれあい」にあると話されました。いま、宮城県では全県一丸となって、力を合わせ助け合うたくましい子、感謝する心の育成にあたっています。氏が唄った「ふれあい」に共鳴するところが多いのです。

被災した・しないにかかわらず、目の前の子どもたちに向き合い、愛情を込めた教育の展開の重要性を改めて感じた研究大会となりました。

閉会后、被災地を巡ってきました。荒浜地区・閑上（ゆりあげ）地区にて感じたことは、
「えーっ、ここに町があったのか…」
「何も無い…」

原野化・廃墟化した土地は想像を超えたものでした。自然の驚異と、一瞬にして町も人も暮らしもなくした悲惨さを痛感して帰ってきました。



閑上地区の様子

生徒会 赤い羽根共同募金



11月23日に、本校生徒会の本部役員の生徒たちが、赤い羽根共同募金の募金ボランティア活動を行いました。役場の職員の方々にも協力いただき、町内のベストム入り口付近で活動しました。

1月の行事予定

- 1日(水) 元日 学校閉庁日(～3日)
- 6日(月) 青少年台湾派遣交流事業(～11日)
- 7日(火) 地域未来塾(～10日)
トンボ杯ソフトボール大会(～9日)
- 8日(水) 全道スキー大会(ジャブ・コンパインド～9日)
陸上道強化選手合宿(札幌)
- 9日(木) 全道スキー大会(クオカントリー ～11日)
- 12日(日) ふらのカップフットサル大会
- 13日(月) 成人の日
- 14日(火) 職員会議
- 15日(水) 3学期始業式
- 16日(木) 3年期末テスト
- 17日(金) 私立推薦入試
- 18日(土) ヲアソツァルソソール地区予選
地区予選U14フットサル大会(会場校)
- 22日(水) 常任委員会 ※昼清掃
- 23日(木) 第4回参観日(3年) ※昼清掃
- 24日(金) 英語検定③
- 25日(土) フタバ旗バスケットボール大会(～26日)
陸上NTT練習会(土別)
学年別バドミントン選手権大会(～26日)
- 27日(月) スキー学習(1年)①
特別支援学校入試
- 30日(木) 職員会議(年度反省)
スキー学習(1年)②
- 31日(金) 貯金日

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

 0120-3882-56

(無料 毎日24時間対応)



●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください

●来所相談

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください

※センターのWebページに「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。

次のURLからご覧ください

URL <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

